

芸文協だより

春を迎えて

原町区芸文協会長 渡部 紀佐夫

令和6年も新年を迎えたと思つたら、もう新年度になりました。月日の経つ速さを切実に感じる年齢になりました。

今年も年明け早々、元日に石川県能登半島では、大地震・津波が発生し、甚大な被害と多数の被災者が生じたことに心からお見舞い、お悔やみ申し上げたいと存じます。

特に寒さの厳しい、雪の多い地域での寒さのど真中の苦難に言葉も出ない心境です。私事ですが、2月に入ってから久しぶりに家族でいわき市小名浜港にドライブがてら出かけましたが、あの3・11の震災から13年を経過しているにもかかわらず、20キロ圏内の6号国道沿いの宅地だったと思われる跡地や、農地も山林も荒れ放題の状況を見たとき、ここに住んでいた人たちの気持ちはいかばかりかと思われ、同時に原発事故の凄さに改めて恐ろしさを感じました。能登半島にも志賀原発があります、事故が起きなかつたのは幸いでした。

さて、ふと気がつけばいつものとおり、別れの3月、そして出会いと希望の4月へと季節は巡ってきます。若い人たちの卒業と入学、シニアの人たちの退職と新生活など、人それぞれですが、切り替えの季節です。

退職の方々は、寂しさの中、趣味の時間に楽しさを求める方もいらっしゃるでしょうか。

もし、よろしければ、芸文協の各団体も一緒にできる機会をお待ちしています。

今年の四季はどのようなものになるやら、とにかく健康で過ごしたいものです。

文芸・研究部門

◇南相馬市原町俳句連盟

この度の元日に起きた地震災害を他人事ではなく感じられた事と思います。原発災害から十三年目に入ります。自然災害は神のみぞ知るとよく言われますが原町俳句連盟では会員が真剣に身の回りの句材を模索しながら暮らしています。

牡丹の芽を見れば毎日その開き具合をながめタンポポが野原で戦げば春の到来を感じて句帳を取り出して五・七・五の僅か十七文字に収めようと努力します。

皆さま俳句に親しんでみませんか。自然が受け入れてくれます。

現在、原町俳句連盟には「まどろ・ひよんの木・寒梅・土筆・けやき」の各吟社があり、計画に沿って行動しています。

各吟社とも、会員募集中です。
▽Tel 090-1379-7818
(宮本みさ子)

◇はらまち史談会

郷土の歴史ほか、興味のあるテーマを話題にし、博物館や史跡を見学したり、文書を読んだりします。身近な地域に資料を集めて研修します。博物館の収蔵資料も覗いてみます。

現在、再開準備中です。
▽Tel 0244-23-4678

美術部門

◇幽美会

書道の会です。今年度の年間予定は次のとおりです。

・学習会 4月～1月 毎月1回
第2月曜 10時 ひばり生涯学習センター和室

その他必要に応じて実施
第19回幽美会書展の開催
10月19日(土)
9時30分～17時30分
10月20日(日)
9時30分～16時

南相馬市民文化会館ゆめはつと・ギャラリイ
第63回福島県書道協会展出品
日程は未定

・市美展への出品
・書心会展出品 令和7年3月
・各種展覧会への積極的な出品
参加並びに参観
・会員拡大
▽原町区大木戸字松島115-34
Tel 0244-22-4375
(佐藤)

音楽・演劇部門

◇原町謡曲同好会

(1)観世流謡曲会
今年度上半期の予定は次のとおりです。

・毎週土曜日13時半から素謡と仕舞の稽古
ひばり生涯学習センター
観桜会 素謡と仕舞 6月

原町生涯学習センター
ゆかた会 素謡と仕舞 8月
原町生涯学習センター

◎見学はいつでも可能です。
▽Tel 090-6257-0661
(2)原町宝生会

会長 森岡正人 会員 15名
(男4名・女11名)
日本の古典芸能である能(謡曲・仕舞)の伝承・普及を目標に楽しんでおります。

原町には「宝生流」として3社中があり、会員の交流を図りながらそれぞれ稽古に励んでおります。

いにしへの源氏・平家物語の世界をのぞきながら、腹の底から声を出し、健康にもつながっています。

入会をお待ち致します。
▽Tel 0244-23-5858
(菅野)

◇野馬追相撲甚句会

大相撲では昔から相撲甚句が唄われました。私どもは、この歴史ある唄を受け継ぎ、毎年3月東京の発表会に参加し4月以降は、各種イベントに招かれて出演しています。そのために、第2、4木曜日に高平生涯学習センターで定例会(練習)を実施しています。

公開していますので、いつでもお出でください。
▽原町区下太田字塚田17-2
Tel 0244-22-7055
(渡部紀佐夫)

◇原町女声合唱団

私たち原町女声合唱団は、団員同士の絆と向上心を大切に楽しく活動している団体です。来年には創立50周年を迎えます。

これからも二本松先生の楽しいご指導の下、50周年に向けて歌っていきたく思っております。

▽Tel 0244-13615896 (荒川)

◇原町メンネル・コール

本年度の上半期の行事予定は次のとおりです。

- ・サロン・コンサート2024
- 6月30日(日) 浮舟文化会館
- ・第24回そうま地方合唱を楽しく会合同発表会
- 9月1日(日)

新地町文化交流センター

(観海ホール)

▽原町区三島町2-101-2

Tel 0244-12315432

◇原町ひばりハーモニカ愛好会

わが会は平成13年に発足以来、今日まで会員相互に協力し合い、素晴らしい音色を奏でるべく練習に励んでおります。

ハーモニカに興味のある方、あるいは無い方も一度私たちの練習を覗いてはいかがですか。きっとハーモニカの魅力を体感できると思います。

- ・練習場所
- 原町ひばり生涯学習センター
- 学習室

・練習日・時間

毎月第1・第3金曜日
午後2時～4時

▽相馬市中村字笹川41-19

Tel 090-455413998 (安倍 毅)

舞踊部門

◇横山慶子舞踊学園原町スタジオ

創立69周年を迎えた当舞踊学園は、舞踊を通し、情操を高めることを目的として、さまざまな洋舞を楽しくレッスンしております。

その中のひとつ原町スタジオでは、モダンダンス・クラシックバレエ・ハワイアンフラのレッスンを行っております。

▽Tel 090-766211440 (郡 真由美)

◇新日本舞踊村井流 竜優季会

本年度の予定は次のとおりです。

- 1月 新年初舞会 相馬市岩ノ子
- 2月 新曲発表会 修道館
- 3月 行政区体づくり出演 南相馬ジャスマール
- 5月 村井流発表会 相馬市
- 6月 特老施設訪問
- 11月 原町区芸文協発表会

新曲発表会

明るく楽しく、和やかに、豊かにをモットーとして、舞踊を通して価値ある人生、社会文化の向上に貢献できればと精励しております。

稽古日 毎週 水・木・金曜

▽稽古場「修道館」

原町区大木戸字金場148

Tel 0244-12316711

◇日本舞踊 華仙流 鈴寿輔会

個人レッスンが中心ですが、会員一同楽しく日舞を学んでおります。

随時会員募集中です。

▽原町区青葉町二丁目92-2

Tel 0244-12313379

◇新日本舞踊 村井流 竜美香会

今年度上半期の予定は次のとおりです。

・相馬村井流発表会

5月12日(日) 相馬市民会館

▽原町区栄町3-97

Tel 090-668317326

生活文化部門

◇原町区華道連合会

華道5流より成る連合会です。

- 草月流・未生流福島未生会・華道家元池坊原町会・原町龍生会・小原流の5流です。

今年度上期の行事は次のとおりです。

一 こどもいけばな教室

日本の伝統文化に対する関心や理解を深める目的で開催しております。

- ・対象者 市内小学1年生～中学3年生 希望があるとき保護者も
- ・場所 原町区内の各生涯学習センター

・申込み5月、教室 6月～3月

二 銘醸館いけばな協力

4月～3月

三 原町区華道連合会 総会

6月

▽Tel 0244-12315607 (会長)

◇大日本茶道協会 原町支部

今年度は原町支部創立70周年を迎えます。

10月下旬に記念式典並びに秋季練成大会を開催予定です。

本会茶道の主旨は、丹田と気合を重んじ、心身一如の鍛練法をもって美しい容姿と誠の心を磨いてまいります。

道具にこだわらず、捉われず、すべての物を修業の師とし、生かしてまいります。

お抹茶とお菓子のいただき方体験してみませんか。

大歓迎お待ちしております。

▽原町区栄町3-130

Tel 0244-12214204



【芸文協です今年もよろこび】

◇芸文協って何?

南相馬市内の文化団体連合会が、南相馬市芸術文化協会です。芸文協は、芸術文化協会の略称で、小高区、鹿島区、原町区にそれぞれあります。

わが原町区芸文協は、南相馬市から補助金の支援を受けるほか、会費を集めて、この「芸文協だより」発行のほかに、「会報」の発行や「文化祭」(合同発表会)開催などの事業を行っています。東日本大震災で、団体数・会員数も半減し、高齢化も進んできたところに新型コロナウイルスの蔓延で大きな影響を受けましたが、それに耐えて頑張っています。

◇文化活動の意味って?

最近、文化活動は単なる趣味ではなく生きがいとなり、人と人を結ぶ絆ともなっています。よりよい人生のため、人と潤いを分かち合いたい、心を癒し癒される、がんばるものにもなっています。コロナ蔓延の終息は延びますが、踏んばる気持ちの一端は、この「だより」にも見えます。

◇どうする文化活動

文化活動を守り育てるためには、会員の数が増え、若返り続けることです。待たれるのは、若い会員の参加、あるいは若い団体の芸文協加入です。皆さん、お待ちしておりますよー。

※今回、原稿が間に合わない場合は、昨年までの情報などにより、事務局が概要をまとめました。また、知りたい詳細は、問合せ先に遠慮なくお電話ください。